

分解性能10倍 光学顕微鏡を公開 「応用分野も拡大」

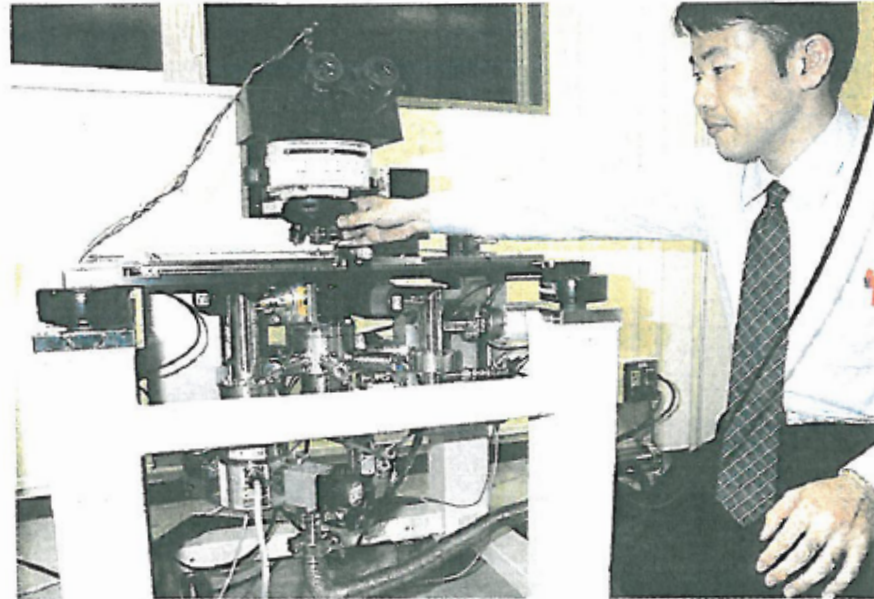
静岡大学工学部の川田善正教授(四七)の「写真」のグループが開発した新しい光学顕微鏡「EXA顕微鏡」が七日、浜松市中区の静岡大学浜松キャンパスで報道陣に公開された。

「静大・川田教授グループ開発」

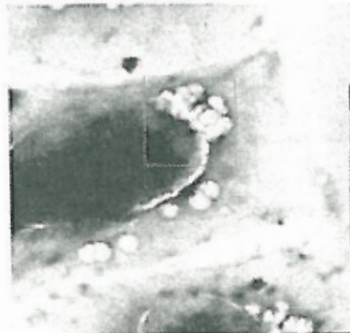


集光部に電子顕微鏡の仕組みを応用する。分野のほか、液晶の動作で、分解性能を野にも応用できる。これまで約十倍高めていきたい」と語った。

の五十ナノメートル(一ナノは百万分の一ミリ)に高めた。EXAは、電子線で光を励起すること、松・東三河地域オプトロニクスクラスター」



静岡大の研究グループが開発した新型顕微鏡。右側の方が持っているレンズからは光学顕微鏡、下は電子顕微鏡の仕組みを応用している。=浜松市中区で



新型光学顕微鏡で観察したハムスターの卵巣の細胞。右側は左側の四角で囲った部分の拡大

500nm